

2026年

12月20日(日)

開場 13:00 / 開演 14:00

愛媛県県民文化会館
サブホール

愛媛県県民文化会館開館40周年記念

野村万作・萬斎

狂言公演

愛媛県県民文化会館開館40周年を記念し
万作・萬斎・裕基の三代共演でお贈りいたします

狂言
『末廣かり』



狂言
『舟渡智』

入場料(全席指定・税込) S席(1階) 7,000円 / A席(2,3階) 5,000円 ※未就学児入場不可
※車椅子席をご希望の方はご購入前にお問い合わせ先にご連絡ください。

プレイガイド 一般発売 7月22日(水)

- ローソンチケット (Lコード:64243) ●チケットぴあ (Pコード:543-213) ●セブンチケット (セブンコード:116-207)
- イープラス ●いよてつ高島屋 TEL:089-948-2411 ●フジグラン松山 TEL:089-922-8111(代表)
- 愛媛県県民文化会館(愛媛県文化振興財団) 平日9:00~17:00/発売日は10:00~ ●テレビ愛媛(オンラインのみ)



文化をみる・きく40年
KENBUN 40TH ANNIVERSARY

【お問い合わせ】
愛媛県県民文化会館(愛媛県文化振興財団)
TEL:089-927-4777(平日9:00~17:00)

主催/えひめ文化振興コンソーシアム(主管:公益財団法人愛媛県文化振興財団) 共催/テレビ愛媛

協賛/meiji 四国明治 後援/愛媛県・愛媛県教育委員会



■番組

解説 野村萬齋

小舞

景清
後

中村修一

地謡

岡 聡史
高野 和憲
野村 裕基
飯田 豪

能「景清」後場でシテ(主役)の景清が語る、屋島の合戦で、敵方の三保谷四郎(みおのやのしろう)と力比べの鏝(しころ)引きをした武勇談を狂言小舞にしたもの。

狂言

末広かり

果報者 野村万作

太郎冠者 内藤 連
すっぱ 深田 博治

後見 飯田 豪

果報者が来客に末広かり(扇)を贈ろうと、太郎冠者に命じて都へ買いに行かせるところが末広かりが何のことが知らない太郎冠者。声を掛けてきた男の巧みな言葉に、古傘を末広かりと信じて込んでしまう。大喜びで古傘を買い求めた太郎冠者は早速屋敷に持ち帰ると、果報者に見せるのだが…。
縁起物の末広かりを題材とする、祝賀的な狂言の代表曲です。高揚する囃子物とともに晴れやかな結末へ向かう、和楽の世界をお楽しみ下さい。

休憩 20分

狂言

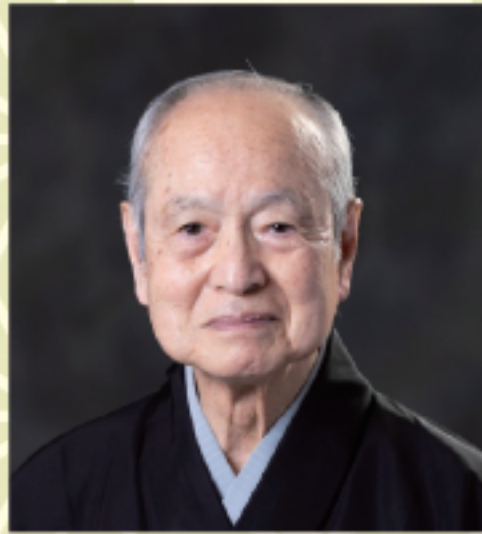
舟渡賀

船頭・男 野村萬齋

賀 野村 裕基
姑 高野 和憲

後見 岡 聡史

ふなわたしむこ
京都から初めて妻の実家に挨拶に行く賀が大津松本から渡し舟に乗る。酒好きの船頭は、賀の持つ酒樽に目をつけ振舞うよう迫るが、断られると、舟を漕ぐのをやめたり、激しく揺らしたりして強引に無心する。賀は仕方なく酒を飲ませ、軽くなった酒樽を持って男宅へ出向く。やがて外出していた男が帰宅するが、男は賀の顔を見てびっくり仰天。男こそが先ほどの船頭だったのだ。男は様を変え、顔を隠して対面するのだが…。
舟に乗っている様子が棹一本で表現されるなど、狂言のマイムとしての面白さがあります。男と賀の掛け合いの妙をお楽しみ下さい。



野村 万作 (のむら まんさく)

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。23年文化勲章受章。祖父・故初世野村萬齋、父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ品格ある芸で国内外の狂言普及に貢献。芸術祭大賞、日本芸術院賞、朝日賞、坪内逍遙大賞ほか受賞多数。02年早稲田大学芸術功労者。練馬名誉区民・練馬文化センター名誉館長。後進の指導にも尽力。著書に『狂言を生きる』。25年、九十年を超える芸境を記録した映画『六つの顔』公開。



野村 萬齋 (のむら まんざい)

1966年生。祖父・故六世野村万蔵、父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演に出演するほか、現代劇・映画・テレビドラマの主演、「敦一山月記・名人伝一」「ハムレット」など古典の技法を駆使した作品の演出でも活躍。現代日本の文化芸術を牽引するトップランナーの一人。紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、24年坪内逍遙大賞ほか受賞多数。石川県立音楽堂芸術監督、東京芸術大学客員教授、全国公立文化施設協会会長。



野村 裕基 (のむら ゆうき)

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。「狂言アイデアの会」主宰。能楽協会会員。3歳の時「靱猿」で初舞台以来、国内外を問わず多数の舞台に出演。「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を既に披く。狂言師として伝統芸術の骨格を守りつつ狂言の魅力を探求し、舞台「ハムレット」(野村萬齋演出)や能 狂言『鬼滅の刃』等、新たな試みでも活躍する。朝日カルチャーセンター狂言クラス、早稲田大学・東京大学・成城大学の狂言サークルを指導。

meiji makes milk.
meiji makes wellness.

meijiがつくる牛乳は、
おいしいだけではいけない。

私たちの健康を育んできた牛乳を、
いつまでも健やかな環境でつくり続けるために。

人と、社会と、地球を見つめて。

meijiは、牛乳をつくっていく。
すべての健康をつくっていく。



meijiの酪農支援活動はこちらから

健康にアイデアを

meiji